DockerでLaravelを使うための導入手順(windows)

はじめに

・事前にDockerToolBoxをインストール

・Docker Quickstart Terminalの使用を進める(現在のgitのブランチが常に表示されるため)

・Terminal上で今いるフォルダより下のフォルダを探す際はlsコマンドが便利

・git add .などを行った後、git commitする前にgit statusを行うとaddしたファイルを確認で

　きる。

Docker導入手順

1. git clone <https://github.com/motokuraken/docker_env> (C直下で)

2. docker-compose.ymlのvolumes(12行目)を変更、(serverから前を変更)

　この場合は、/c/docker\_env/server:/var/www/html/public

　(使用中のパソコンに絶対パスを合わせる)

3. Oracle VM VirtualBoxに行き、defaultの設定を行う

　(1)設定から共有フォルダを選び、共有フォルダを追加

　　・フォルダのパスを選ぶ(今回はC直下のdocker\_env)

　　・フォルダ名の先頭にc/を付ける(今回の場合はc/docker\_env)

　　・自動マウント、および永続化には必ずチェックを入れる

　(2)共有フォルダの設定が終わったら、一度VirtualBoxを閉じる(電源オフ)

　　(ここを忘れると、Laravelのインストールができなくなる)

4. コマンドでserverに移動し、git clone <https://github.com/motokuraken/laravel_env.git>

　→docker\_envのserver下にlaravel\_envができていればOK

　　できてなければ、git cloneのし直し

5. 任意ではあるが、laravel\_envをlaravelにリネーム(したほうがいいかも)

6. ターミナルでdocker-compose up -dを入力

　・3の前に行ってもよい

　・うまくいった場合は、

　　　Creating docker\_db ... done

　　　Creating docker\_web ... done

　　　Creating docker\_phpmyadmin ... done

　　のように表示される。

　　このように表示されていた場合、無事にコンテナが起動している。

　・docker-compose psでコンテナの起動状況を確認できる

　　(うまくいっていればUp、エラーだとExitが表示される)

7. docker-compose exec web bashでwebコンテナ内に移動

　→root@c55b2c63c592:/var/www/html/public#が表示される

8. cdでlaravel\_env(リネームした場合はそのフォルダ名)に移動

　→ここで、No such file or directoryが出た場合は、

　　➀docker-compose.ymlの12行目のvolumsの絶対パスが間違っている(3で設定したやつ)

　　➁Oracle VM VirtualBoxの共有フォルダの設定ができていない

　　➂共有フォルダを設定した後に一度「電源オフ」をしていない

　　以上3つのどれかが原因である。(再起動は忘れがち)

9. 移動したら、ターミナルでcomposer updateを入力(時間がかかります)

　→composer updateを行うことでLaravelが使えるようになる。

10. exitを入力してweb bashから脱出し、docker-compose buildでimage作成

11. 再度、docker-compose up -dを実行

　→6同様、web、db、phpmyadminの3つともdoneになればOK

　　(docker-compose psで確認してみるのもよい)

12. ブラウザに行き、自分のIPアドレスの後ろに「:70」を付けてURLを入力

　→おなじみのLaravelの画面が出ればOK

　・例：111.111.91.100()

・Docker Quickstart Terminalを使っている場合、

## .

## ## ## ==

## ## ## ## ## ===

/"""""""""""""""""\\_\_\_/ ===

~~~ {~~ ~~~~ ~~~ ~~~~ ~~~ ~ / ===- ~~~

\\_\_\_\_\_\_ o \_\_/

\ \ \_\_/

\\_\_\_\_\\_\_\_\_\_\_\_/

　　起動したときに出る↑のクジラの下の行のIPの後の数字が自分のIP

　　docker is configured to use the default machine with IP ここが自分のIP

13. 同じく自分のIPアドレスの後に「:7070」を付けてURLを入力

　→phpmyadminが表示されればOK

14. 「自分のIPアドレス:70/test」とURLを入力

　→画面に「test」と表示されれば画面遷移の問題はOK

15. phpmyadminにdockerという名前でDBを作成

16. docker-compose exec web bashでweb bashに入り、php artisan migrate実行

　→migrationが上手くいった場合、DBとの連携はOK

　・DB設定の方法

　config/database.php

　51行目　'database' => env('DB\_DATABASE', 'docker')←docker部分をDB名に

　.env

12行目　DB\_DATABASE=docker　docker部分をDB名に